

## 資料2-1

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会  
共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点  
に関する作業部会  
(第10期-第2回)R1.11.26

# 共同利用・共同研究拠点に係る中間評価（平成30年度）の実施方法について

## 1. 評価の対象

評価の対象は、国立大学の共同利用・共同研究拠点（ネットワーク型及び連携ネットワーク型含む）77拠点

## 2. 評価の実施体制

研究分野等に応じた専門的かつ公正な審議を行うため、作業部会の下に専門委員会（特色ある共同利用・共同研究拠点に関する専門委員会を除く）を設けて中間評価を実施する。

その際、専門的観点から高い知見を有する有識者を含めることができることとする。

## 3. 評価の目的

各拠点の活動状況や成果、研究者コミュニティの意向を踏まえた取組が適切に行われているかなどを確認し、拠点の目的が十分達成されるよう適切な助言を行うことで、今後の学術研究の基盤強化と新たな学術研究の展開に資することを目的として中間評価を実施する。その際、第2期中期目標期間から継続して認定を受けた拠点については、前期の期末評価結果のフォローアップを実施する。また、組織再編の届け出を行った拠点については、再編後の拠点活動の進捗状況についての評価を併せて実施する。

## 4. 評価の区分

- S : 拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。
- A : 拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究拠点を通じた成果や効果が期待される。
- B : 拠点としての活動は行われているものの拠点の規模等と比較して低調であり、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた適切な取組が必要と判断される。
- C : 拠点としての活動が十分とは言えず、認定の基準に適合していない状況にある可能性があると判断される。

※ なお、「C」の評定は、評価結果の決定後、認定の取消についての審議において考慮。

(評価区分の割合の目安)

- S . . . 20%程度
- A . . . 50%程度
- B、C . . . 30%程度

## 5. 評価の方法

中間評価は、作業部会に設けられた各専門委員会において書面及びヒアリング、合議評価により実施する。

なお、評価に際しては、分野、規模等、各拠点の特性に配慮する（特に、小規模であることのみをもって低評価とはしない）。

### ① 書面評価

各専門委員会において、担当する拠点について次の資料により個別審査を行い、合議により書面評価を行う。なお、評価にあたっては、調書の自由記述欄の記載内容も十分に考慮し、合議の際には、複数の各分野の専門家による評価意見を参考とする。

- ・ 共同利用・共同研究拠点中間評価用調書
- ・ 認定（期末評価）時の申請書

### ② ヒアリング評価

書面評価を踏まえ、各専門委員会においてヒアリングを行い、その後合議によりヒアリング評価を行う。ただし、書面評価の結果により、ヒアリングを省略することを可能とする。

### ③ 評価の決定

作業部会は、各専門委員会における各拠点の評価結果案について全体調整を行い、各拠点と評価内容の事実確認を行った上で、中間評価結果を最終的に決定する。

その際、ネットワーク拠点化により改善の見込みがある拠点については、指摘する。

なお、作業部会は、中間評価結果をまとめた後、その結果を踏まえて改めて審議し、「C」と評価されるなど当該拠点の活動が不十分であり、共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程（平成20年7月31日 文部科学省告示第133号）第3条に定める認定の基準に適合しなくなったと認められる拠点については、認定取消の提言を文部科学大臣に対し行う。

## 6. 評価の観点

### ① 拠点としての適格性

○ 研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該拠点の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。（規程第3条第2号関連）

- ・ 下記のような点を総合的に考慮して、各拠点が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。
  - ＞ 当該研究施設におけるこれまでの研究成果
  - ＞ 競争的資金等の採択状況
  - ＞ 卓越した研究者やリーダーの存在
  - ＞ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者が利用できる研究スペースや宿泊施設等の確保
- ・ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として当該分野の中核的な研究施設であると認められるか。
- ・ 同一分野複数拠点の場合、以下の点に留意し、それぞれの拠点が中核的な研究施設であると認められるか。

- > 当該分野における各拠点の特徴
- > 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制

○ 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料及びデータ等を備えているか。

(規程第3条第3号関連)

- ・ 当該研究施設が有する共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料及びデータ等の整備状況等

○ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、施設、設備、資料及びデータの利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うための必要な体制が整備されているか。(規程第3条第6号関連)

- ・ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員(教員、技術職員、事務職員等)が配置されているか。
- ・ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。
- ・ 関連研究者に対して必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。
- ・ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。
- ・ 関連研究者に対する支援を行うに当たり、必要な全学的支援(予算・人員の配分等)が行われているか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。

② 拠点としての活動状況

○ 全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設設備、資料及びデータ等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供が広く行われているか。(規程第3条第7号関連)

- ・ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)、学会誌での情報提供等により、広く情報提供が行われているか。
  - > 共同利用・共同研究への参加の方法(課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等)
  - > 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備、資料及びデータ等の状況
  - > 拠点における研究の成果
  - > その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等

○ 多数の関連研究者の参加促進・関係分野への働きかけや大型プロジェクトの企画運営等、関連分野の発展への取組が行われているか。(規程第3条第8号関連)

- ・ 特に公私立の研究者の参加を促進するための取組が行われているか。
- ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成が行われているか。
- ・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワークの構築等に参画し中核的な取組をしているか(日本学術会議のマスタープランの重点大型計画、科学技術・学術審議会のロードマップへの掲載等)。

○ 拠点の運営に当たり、広く外部の意見を取り入れているか、または、取り入れることができる仕組みとなっているか。(規程第3条第4号関連)

- ・ 例えば、全国の関連研究者の意向を反映させやすいような体制や組織構成となっているか。
- ・ 積極的にコミュニティからの意見を取り入れるような取組がなされているか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮できるような構成となっているか(例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっていないか)。

○ 共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加しているか。(規程第3条第8号関連)

- ・ 共同利用・共同研究の実績(設備の利用状況、データベースへのアクセス数、共同研究の件数、研究集会やシンポジウムの開催数、共同研究者数等)は研究施設の規模や実績と比較して十分か。
- ・ 従前は全国共同利用施設ではなかった拠点においては、拠点認定前と比較してどの程度実績が上がっているか。

○ 共同利用・共同研究の課題等の採択に当たり、公平な審査が可能な仕組みが整備されているか。(規程第3条第5号関連)

- ・ 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が適切か(広くコミュニティに開かれているか、公平に採択されているかなど)。

### ③ 拠点における研究活動の成果

○ 拠点認定時(認定更新時)の申請内容がどの程度達成されているか。

- ・ 拠点に申請した際(認定を更新した際)の目的・目標に対してどの程度達成されたか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、異分野融合による新分野創成にどのような貢献をしているのか。  
また、各拠点の研究分野の発展や研究活動にどのような効果を及ぼしたか。

○ 共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているか。

- ・ 下記のような客観的な指標から、当該拠点の共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているといえるか。
  - > 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、共同利用・共同研究が発展してプロジェクト研究につながったもの等。
  - > 共同利用・共同研究機能でしか成し得ない研究成果が生み出されているか(異分野融合による新分野の創成等)。

○ 研究活動の成果が地域社会や広く国際社会に対しても貢献できているか。

- ・ 公開講座や公開講演会等の実施状況

### ④ 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献

○ 関連研究分野や関連研究者コミュニティの発展に貢献できているか。

- ⑤ 審査（期末）評価結果のフォローアップ状況
  - 期末評価結果等で示した改善点にどのように対応しているのか。

【以下、該当する拠点のみ】

＜第2期中期目標期間から継続して認定を受けている拠点が対象＞

- ⑥ 期末評価結果のフォローアップとして、各大学の強み・特色としての機能強化への貢献
  - 国際化へどのように貢献しているのか（国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等）。
  - 若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献しているのか。
  - 企業との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献しているのか。
  - 地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献しているのか。
  - 年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等により人材の流動化にどのように貢献しているのか。
  
- ⑦ 拠点としての今後の方向性
  - 国立大学改革が進む中、第3期中期目標期間において、拠点として取り組む方向性へ向かってどのように進んでいるのか。
    - ・ 重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等

＜第3期中期目標期間の認定時又は認定後に組織再編を行った拠点が対象＞

- ⑧ 組織再編に伴う拠点活動の状況
  - 届け出がなされた拠点の組織整備の状況や拠点活動について、どのような成果が認められるか（認められつつあるか）。（上記評価の観点に対する記述を抜粋するなどして、その効果や成果を具体的に記述してください。）

## 7. その他

(1) 中間評価結果の反映・活用

中間評価結果に基づき各拠点の活動について適切な助言を行うとともに、次期認定や財政的な支援を行う際の資料とする。

特に、「C」の拠点については、共同利用・共同研究拠点の機能を果たすという観点で、認定の基準に適合していない可能性があるものとして、認定取消の審議において考慮される。

(2) 評価の公開等

- ① 中間評価の過程は、評価の適正な実施の観点から非公開とし、関係の会議資料等についても非公開とする。
- ② 中間評価結果については、総合評価及び観点毎の評価について各拠点に通知するとともに、ホームページへの掲載等により公開する。

(3) 利害関係者の排除

- ① 中間評価委員が当該拠点に専任又は兼任として在職（就任予定を含む。）し、または過去3年以内に在職していた場合
- ② 中間評価委員の関係者（学部、研究科、附置研究所等の同一組織の者、親族）が拠点の構成員となっている場合
- ③ その他中間評価委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断される事由がある場合

(4) 秘密保持

- ① 中間評価委員は、中間評価の過程で知ることのできた情報について外部に漏らしてはならない。
- ② 中間評価委員は、委員として取得した情報（調書等各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理することとする。

(5) その他

この要項に定めるもののほか、中間評価の実施に関し必要な事項は別に定める。

## 中間評価体制

共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・  
共同研究拠点に関する作業部会

・ 中間評価要項等の検討・決定

### 専門委員会

理工学系（大型設備利用型） 4名程度

理工学系（共同研究型） 6名程度

医学・生物学系（医学系） 5名程度

医学・生物学系（生物学系） 4名程度

人文・社会科学系 3名程度

異分野融合系 3～4名程度

共同利用・共同研究拠点の中間評価に係る専門委員会のグループ分け

※「期末評価」列には、期末評価または平成28年度新規認定を行った際の専門委員会のグループを記載。

理工(大型):理工学系(大型設備利用型)、理工(共同):理工学系(共同研究型)、医(生):医学系(医学系)、医(生):医学系(生物学系)、  
人社:人文・社会科学系

※ネットワーク型拠点における中核拠点大学には「○」を記載。

a①:理工学系(大型設備利用型)(14拠点)

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(生)	医(生)	人社
1	東北大学	電子光物理学センター	電子光物理学研究拠点	原子核物理学、放射化学、加速器科学	■				
2	筑波大学	計算科学研究センター	先端学際計算科学共同研究拠点	計算科学、計算機科学	■				
3	東京大学	宇宙線研究所	宇宙線研究拠点	宇宙線・素粒子・宇宙物理	■				
4	東京大学	素粒子物理国際研究センター	最高エネルギー素粒子物理学研究拠点	素粒子物理学	■				
5	東京大学	物性研究所	物性科学研究拠点	物理学、化学、材料科学	■				
6	京都大学	原子炉実験所	複合原子力科学拠点	複合原子力科学	■				
7	京都大学	生存圏研究所	生存圏科学の共同利用・共同研究拠点	生存圏科学	■				
8	大阪大学	核物理研究センター	サブアトミック科学研究拠点	素粒子・原子核、宇宙線、宇宙物理学	■				
9	大阪大学	レーザー科学研究所	レーザーエネルギー学先端研究拠点	プラズマ科学	■				
10	広島大学	放射光科学研究センター	放射光物質物理学研究拠点	物質物理学	■				
11	高知大学	海洋コア総合研究センター	地球掘削科学共同利用・共同研究拠点	地球惑星科学	■				
12	九州大学	応用力学研究所	応用力学共同研究拠点	自然エネルギー学、地球環境学、核融合・プラズマ科学	■				
13	佐賀大学	海洋エネルギー研究センター	海洋エネルギー創成と応用の先導的的共同研究拠点	エネルギー学、船舶海洋工学熱工学	■				
14	北海道大学	情報基盤センター	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点(ネットワーク型)	計算科学、計算機科学	■				
	東北大学	サイバーサイエンスセンター							
	東京大学	○ 情報基盤センター							
	東京工業大学	学術国際情報センター							
	名古屋大学	情報基盤センター							
	京都大学	学術情報メディアセンター							
	大阪大学	サイバーメディアセンター							
九州大学	情報基盤研究開発センター								

a②:理工学系(共同研究型)(23拠点)

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(生)	医(生)	人社
15	北海道大学	低温科学研究所	低温科学研究拠点	低温科学	■				
16	北海道大学	触媒科学研究所	触媒科学研究拠点	触媒科学、サステナブル触媒工学	■				
17	東北大学	金属材料研究所	材料科学共同利用・共同研究拠点	材料科学	■				
18	東北大学	電気通信研究所	情報通信共同研究拠点	情報通信	■				
19	東北大学	流体科学研究所	流体科学国際研究教育拠点	流体科学	■				
20	千葉大学	環境リモートセンシング研究センター	環境リモートセンシング研究拠点	リモートセンシング、環境動態解析	■				
21	東京大学	空間情報科学研究センター	空間情報科学研究拠点	空間情報科学	■				
22	東京大学	地震研究所	地震・火山科学の共同利用・共同研究拠点	固体地球科学、自然災害科学、地震工学	■				
23	東京工業大学	フロンティア材料研究所	先端無機材料共同研究拠点	材料工学、応用物理学・工学基礎、建築学	■				
24	金沢大学	環日本海域環境研究センター	越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点	環境解析学、環境保全学、環境創成学	■				
25	名古屋大学	宇宙地球環境研究所	宇宙地球環境研究拠点	数物系科学(地球惑星科学、物理学、天文学)、複合新領域(環境学)	■				
26	名古屋大学	未来材料・システム研究所	革新的省エネルギーのための材料とシステム研究拠点	電子デバイス工学、好環境材料工学、計測制御・情報通信システム工学	■				
27	京都大学	エネルギー理工学研究所	ゼロエミッションエネルギー研究拠点	エネルギー科学	■				
28	京都大学	化学研究所	化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際研究拠点	化学	■				
29	京都大学	基礎物理学研究所	理論物理学研究拠点	理論物理学	■				
30	京都大学	数理解析研究所	数学・数理科学の先端的共同利用・共同研究拠点	数学、数理科学	■				
31	京都大学	防災研究所	自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点	社会・安全システム科学(自然災害科学)	■				
32	大阪大学	接合科学研究所	接合科学共同利用・共同研究拠点	接合科学(複合材料・表面工学)	■				
33	岡山大学	惑星物質研究所	地球・惑星物質科学研究拠点	地球惑星物質科学	■				
34	愛媛大学	地球深部ダイナミクス研究センター	先進超高压科学研究拠点	超高压科学	■				
35	九州大学	マス・フォア・インダストリー研究所	産業数学の先進的・基礎的的共同研究拠点	数学・数理科学	■				
36	北海道大学	電子科学研究所	物質・デバイス領域共同研究拠点(ネットワーク型)	物質・デバイス領域	■				
	東北大学	○ 多元物質科学研究所							
	東京工業大学	化学生命科学研究所							
	大阪大学	産業科学研究所							
	九州大学	先端物質化学研究所							
37	北海道大学	○ 北極域研究センター	北極域研究共同推進拠点(連携ネットワーク型)	環境学	■				
	情報・システム研究機構	国際北極環境研究センター							
	海洋研究開発機構	北極環境変動総合研究センター							



**b①:医学・生物学系(医学系)(17拠点)**

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(医)	医(生)	人社
38	北海道大学	遺伝子病制御研究所	細菌やウイルスの持続性感染により発生する感染症の先端的研究拠点	医学			■		
39	北海道大学	人獣共通感染症リサーチセンター	人獣共通感染症研究拠点	人獣共通感染症学			■		
40	東北大学	加齢医学研究所	加齢医学研究拠点	加齢制御学、腫瘍制御学、脳科学			■		
41	群馬大学	生体調節研究所	内分泌・代謝学共同研究拠点	内分泌学、代謝学、生活習慣病学			■		
42	千葉大学	真菌医学研究センター	真菌感染症研究拠点	医真菌学、臨床感染症学、感染免疫学			■		
43	東京大学	医科学研究所	基礎・応用医学の推進と先端医療の実現を目指した医科学共同研究拠点	先端医療学、がん・ゲノム医学、感染・免疫学			■		
44	東京医科歯科大学	難治疾患研究所	難治疾患共同研究拠点	歯医学・基礎生物学			■		
45	新潟大学	脳研究所	脳神経病理資源活用の疾患病態共同研究拠点	神経病理学、ヒト脳科学、分子病態学			■		
46	金沢大学	がん進展制御研究所	がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点	腫瘍学			■		
47	京都大学	ウイルス・再生医科学研究所	ウイルス感染症・生命科学先端融合的共同研究拠点	ウイルス学、実験病理学、分子生物学			■		
48	京都大学	ウイルス・再生医科学研究所	再生医学・再生医療の先端融合的共同研究拠点	再生医学・再生医療			■		
49	大阪大学	微生物病研究所	微生物病共同研究拠点	感染症学、生体応答医学、基礎生命科学			■		
50	徳島大学	先端酵素学研究所	酵素学研究拠点	病態医学、医学一般、分子生物学			■		
51	九州大学	生体防御医学研究所	多階層生体防御システム研究拠点	生体防御医学、分子生物学、多階層オミクス研究			■		
52	長崎大学	熱帯医学研究所	熱帯医学研究拠点	熱帯医学、感染症学、グローバルヘルス			■		
53	熊本大学	発生医学研究所	発生医学共同研究拠点	発生医学、再建医学			■		
54	広島大学	○ 原爆放射線医科学研究所	放射線災害・医科学研究拠点(ネットワーク型)	放射線災害医学、放射線影響学、放射線生物学・医科学			■		
	長崎大学	原爆後障害医療研究所							
	福島県立医科大学	ふくしま国際医療科学センター							

**b②:医学・生物学系(生物学系)(12拠点)**

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(医)	医(生)	人社
55	帯広畜産大学	原虫病研究センター	原虫病制御に向けた国際的共同研究拠点	寄生虫学、衛生動物学、応用獣医学				■	
56	筑波大学	つくば機能植物イノベーション研究センター遺伝子実験センター	形質転換植物デザイン研究拠点	植物遺伝子研究、バイオテクノロジー				■	
57	東京大学	大気海洋研究所	大気海洋研究拠点	地球惑星科学、環境学、水産学				■	
58	京都大学	生態学研究所	生態学・生物多様性科学の先端的共同利用・共同研究拠点	生態学				■	
59	京都大学	放射線生物研究センター	放射線生物学の研究推進拠点	放射線生物学、分子生物学、細胞生物学				■	
60	京都大学	野生動物研究センター	絶滅の危機に瀕する野生動物(大型哺乳類等)の保全に関する研究拠点	野生動物学				■	
61	京都大学	霊長類研究所	霊長類学総合研究拠点	霊長類学				■	
62	大阪大学	蛋白質研究所	蛋白質研究共同利用・共同研究拠点	蛋白質科学、生化学、生物物理学				■	
63	鳥取大学	乾燥地研究センター	乾燥地科学拠点	乾燥地科学				■	
64	岡山大学	資源植物科学研究所	植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点	植物遺伝資源学、植物環境応答学、分子育種学				■	
65	愛媛大学	沿岸環境科学研究センター	化学汚染・沿岸環境研究拠点	環境科学、環境化学、海洋環境学				■	
66	琉球大学	熱帯生物圏研究センター	熱帯生物圏における先端的環境生命科学共同研究拠点	サンゴ礁・マングローブ学、熱帯生物多様性学、熱帯生物資源学				■	

**c:人文・社会科学系(8拠点)**

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(医)	医(生)	人社
67	北海道大学	スラブ・ユーラシア研究センター	スラブ・ユーラシア地域研究にかかわる拠点	地域研究(人文・社会系)					■
68	東京大学	社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター	社会調査・データアーカイブ共同利用・共同研究拠点	社会学、経済学					■
69	東京大学	史料編纂所	日本史史料の研究資源化に関する研究拠点	日本史					■
70	東京外国語大学	アジア・アフリカ言語文化研究所	アジア・アフリカの言語文化に関する国際的研究拠点	言語学、文化人類学、地域研究分野					■
71	一橋大学	経済研究所	「日本および世界経済の高度実証分析」拠点	応用計量経済学、マクロ経済学、金融・公共経済学					■
72	京都大学	経済研究所	先端経済理論の国際的共同研究拠点	理論経済学、経済政策					■
73	京都大学	人文科学研究所	人文学諸領域の複合的共同研究国際拠点	人文学、情報学、環境学					■
74	大阪大学	社会経済研究所	行動経済学研究拠点	行動経済学					■

**d:異分野融合系(3拠点)**

整理番号	大学名	研究機関名	共同利用・共同研究拠点名	研究分野	期末評価				
					理工(大型)	理工(共同)	医(医)	医(生)	人社
75	京都大学	東南アジア地域研究研究所	地域情報資源の共有化と相関型地域研究の推進拠点	地域研究、地域情報学、相関型地域研究					■
76	京都大学	東南アジア地域研究研究所	東南アジア研究の国際共同研究拠点	医学・生態・環境学、政治・経済学、文化人類学					■
77	東京医科歯科大学	○ 生体材料工学研究所	生体医工学共同研究拠点(ネットワーク型)	生体医工学、生体材料学、電子工学			■		
	東京工業大学	未来産業技術研究所							
	静岡大学	電子工学研究所							
	広島大学	ナノデバイス・バイオ融合科学研究所							

## 共同利用・共同研究拠点の中間評価の進め方

